

文化芸術活動への助成制度及び 日本版アーツカウンシル（試行） に関するアンケート調査集計結果

平成27年1月

独立行政法人日本芸術文化振興会基金部

今回のアンケートは、平成 27 年度助成対象活動に応募した文化芸術団体等に任意の協力を求めて実施した。

アンケートには応募した助成対象分野についても記入を求めたところ、集計の結果、協力が得られたのは基金による助成に応募した団体のうち 880 団体、補助金による助成に応募した団体のうち 184 団体であった。

基金による助成については、1,113 団体から 1,292 活動、補助金による助成については、243 団体から 509 活動の応募があったため、本アンケートに対しては、基金による助成の応募団体の 79%、補助金による助成の応募団体の 76%の協力が得られたことになる。

しかし、回答内容を精査したところ、基金による助成に応募しているにも関わらず、補助金による助成に応募していると回答したと思われる団体や、基金による助成の「地域文化施設公演・展示活動」に応募しているが、音楽の公演であったために、応募分野を「現代舞台芸術創造普及活動」の「音楽」と回答したと思われる団体等が見られた。

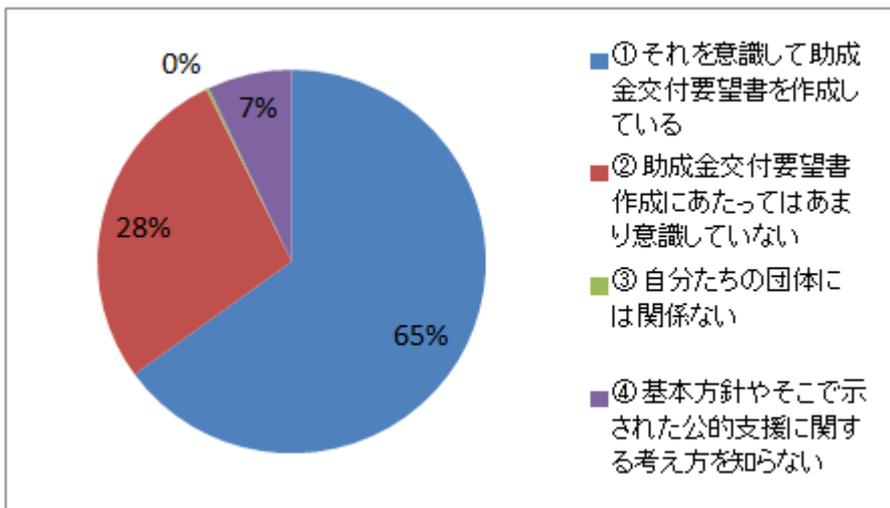
したがって、助成金の種類別、分野別の集計値については正確な値が出ないと思われるため、本資料では全体集計のみを掲載した。

※ 問1(1)(2)については省略

2. 文化芸術への公的支援について

(3) 文化芸術への公的支援に関する考え方を「社会的費用」から「社会的必要性に基づく戦略的な投資」と捉え直したこと(「第3次基本方針」第1 2(2)①参照)についてどう思いますか？(回答はひとつ)

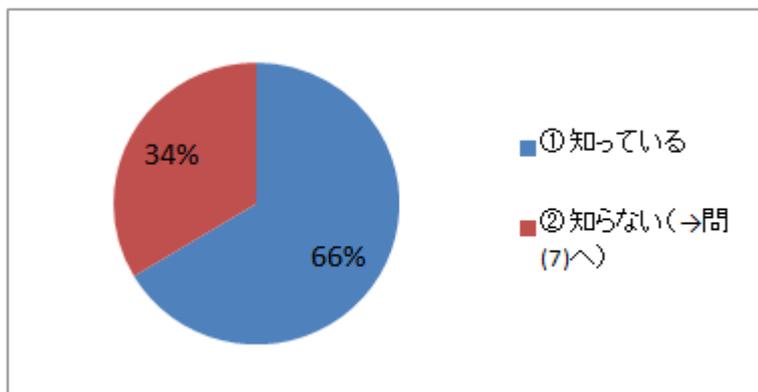
	実数	構成比
① それを意識して助成金交付要望書を作成している	681	65.1%
② 助成金交付要望書作成にあたってはあまり意識していない	290	27.7%
③ 自分たちの団体には関係ない	2	0.2%
④ 基本方針やそこで示された公的支援に関する考え方を知らない	73	7.0%



3. 振興会の取り組みについて

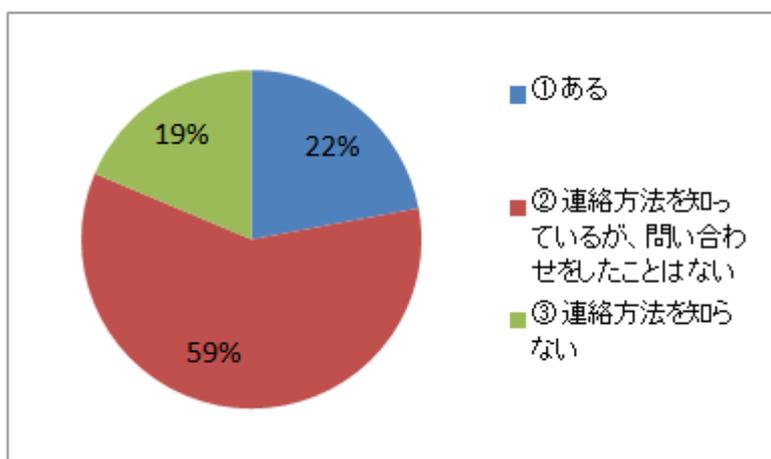
(4) 振興会において平成23年度以降に取り組んでいる一部の分野(※)におけるプログラム・ディレクター、プログラム・オフィサーの配置についてご存知ですか？(回答は一つ)

	実数	構成比
① 知っている	204	66.4%
② 知らない(→問(7)へ)	103	33.6%



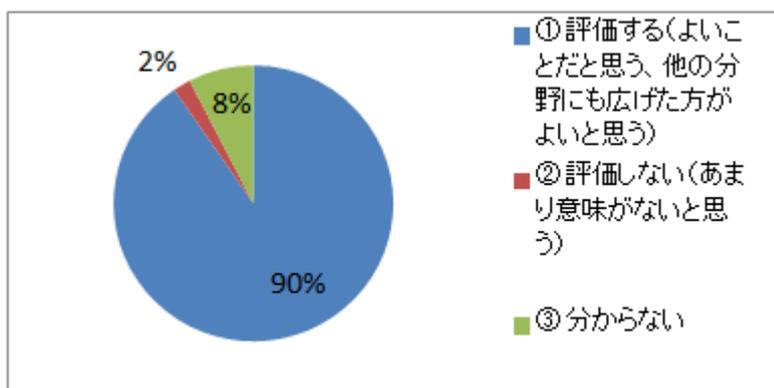
(5) (4)で「知っている」と回答した方に伺います。プログラム・ディレクター、プログラム・オフィサーは助成対象団体に対する助言も行っていますが、貴団体から積極的に問い合わせを行ったことがありますか？(回答はひとつ)

	実数	構成比
① ある	97	22.0%
② 連絡方法を知っているが、問い合わせをしたことはない	261	59.3%
③ 連絡方法を知らない	82	18.6%



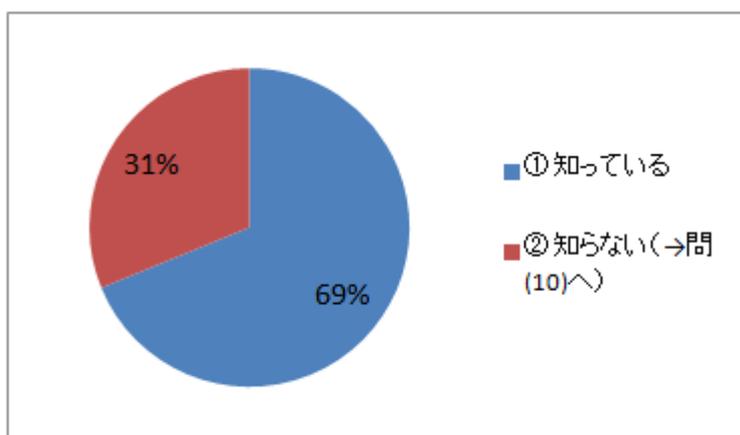
(6) (4)で「知っている」と回答した方に伺います。プログラム・ディレクター、プログラム・オフィサーを配置していることについて、どうお考えですか？(回答はひとつ)

	実数	構成比
① 評価する(よいことだと思う、他の分野にも広げた方がよいと思う)	131	90.3%
② 評価しない(あまり意味がないと思う)	3	2.1%
③ 分からない	11	7.6%



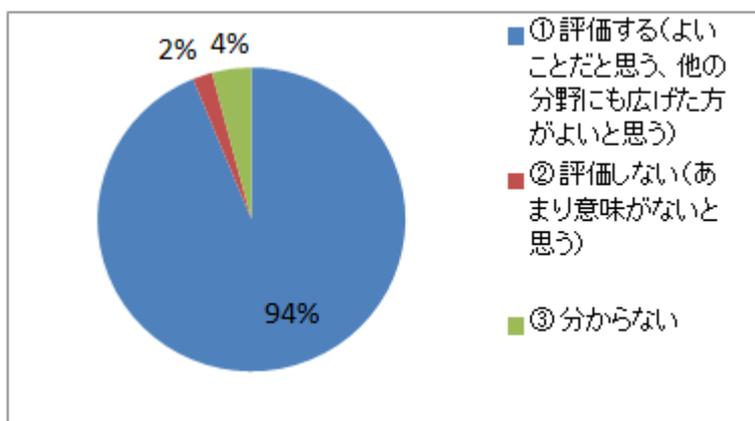
(7) 振興会において取り組んでいる助成対象活動に関する審査基準の公開についてご存知ですか？(回答はひとつ)

	実数	構成比
① 知っている	726	68.8%
② 知らない(→問(10)へ)	329	31.2%



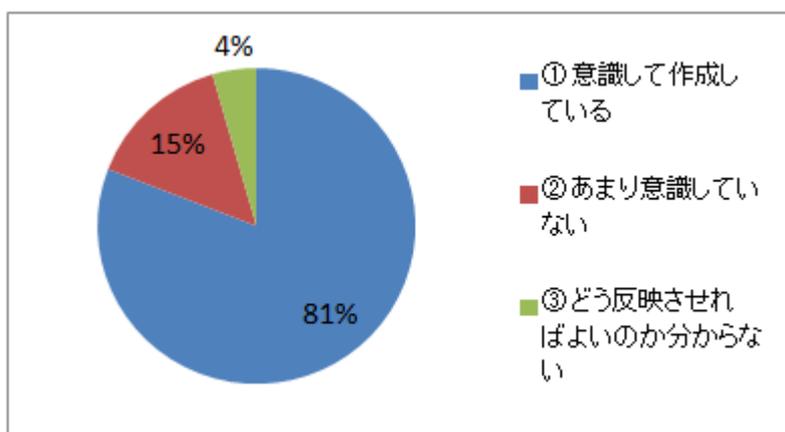
(8) (7)で「知っている」と回答されたかに伺います。審査基準を事前に公開していることについて、どうお考えですか？(回答はひとつ)

	実数	構成比
① 評価する(よいことだと思う、他の分野にも広げた方がよいと思う)	675	93.8%
② 評価しない(あまり意味がないと思う)	15	2.1%
③ 分からない	30	4.2%



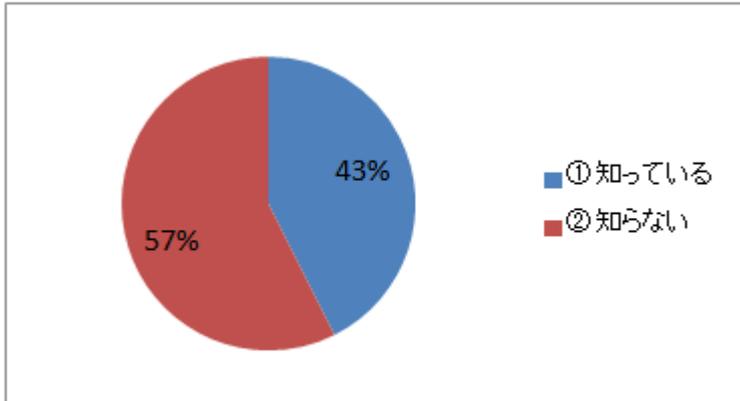
(9) (7)で「知っている」と回答された方に伺います。審査基準を意識して助成金交付要望書を作成していますか？(「本活動の企画意図」の欄の記述など)(回答はひとつ)

	実数	構成比
① 意識して作成している	579	80.9%
② あまり意識していない	105	14.7%
③ どう反映させればよいのか分からない	32	4.5%



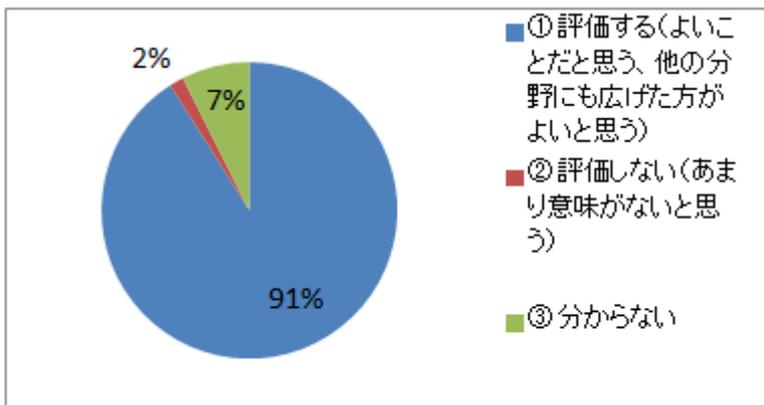
(10) 振興会において取り組んでいる一部の分野における助成対象活動に対する事後評価の実施についてご存知ですか？(回答はひとつ)

	実数	構成比
① 知っている	451	42.6%
② 知らない	607	57.4%



(11) (10)で「知っている」と回答された方に伺います。事後評価を実施していることについて、どうお考えですか？(回答はひとつ)

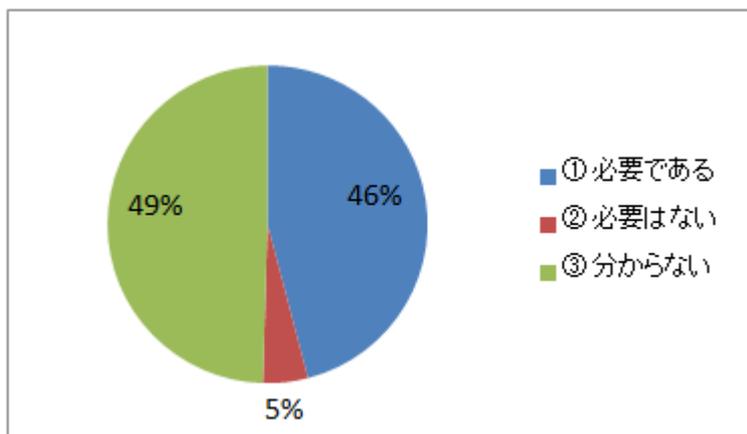
	実数	構成比
① 評価する(よいことだと思う、他の分野にも広げた方がよいと思う)	407	91.1%
② 評価しない(あまり意味がないと思う)	7	1.6%
③ 分からない	33	7.4%



4. 試行的取組について

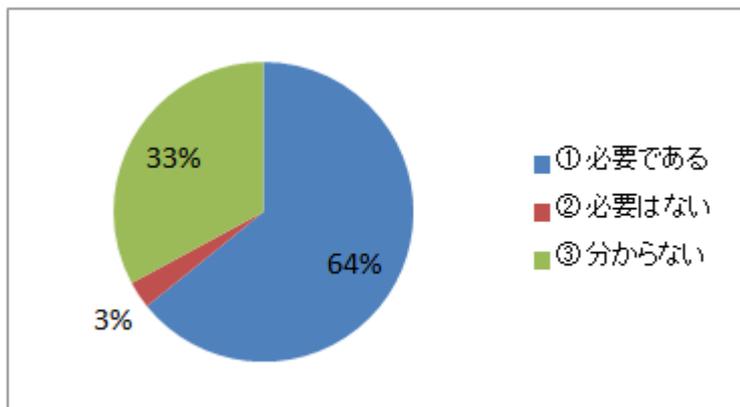
(12) 日本版アーツカウンシル導入のために、一部の分野以外の基金による助成に係る活動や映画製作についても、プログラム・ディレクター等を配置するような試行的取組について、今後必要であると思えますか？(回答は一つ)

	実数	構成比
① 必要である	485	45.9%
② 必要はない	48	4.5%
③ 分からない	523	49.5%



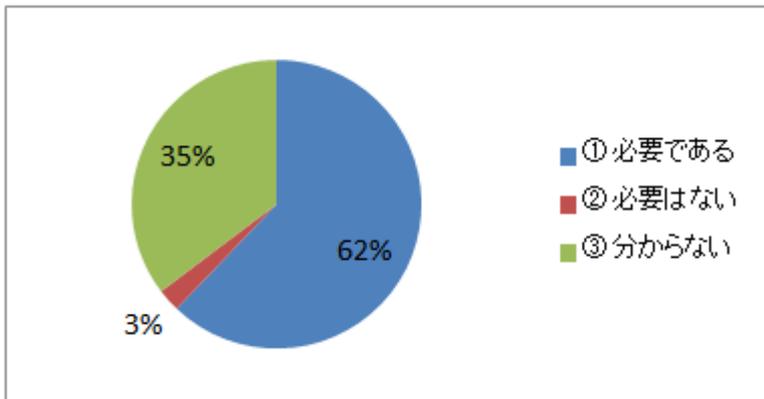
(13) 日本版アーツカウンシル導入のために、一部の分野以外の基金による助成に係る活動や映画製作についても、事前に審査基準を公表するような試行的取組について、今後必要であると思えますか？(回答はひとつ)

	実数	構成比
① 必要である	676	64.1%
② 必要はない	31	2.9%
③ 分からない	347	32.9%



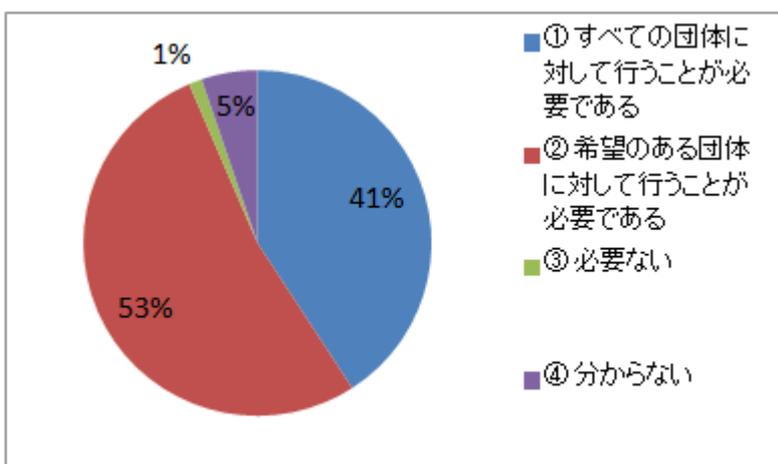
(14) 日本版アーツカウンシル導入のために、基金による助成に係る活動や映画製作についても、事後評価を導入するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（回答はひとつ）

	実数	構成比
① 必要である	651	62.1%
② 必要はない	27	2.6%
③ 分からない	370	35.3%



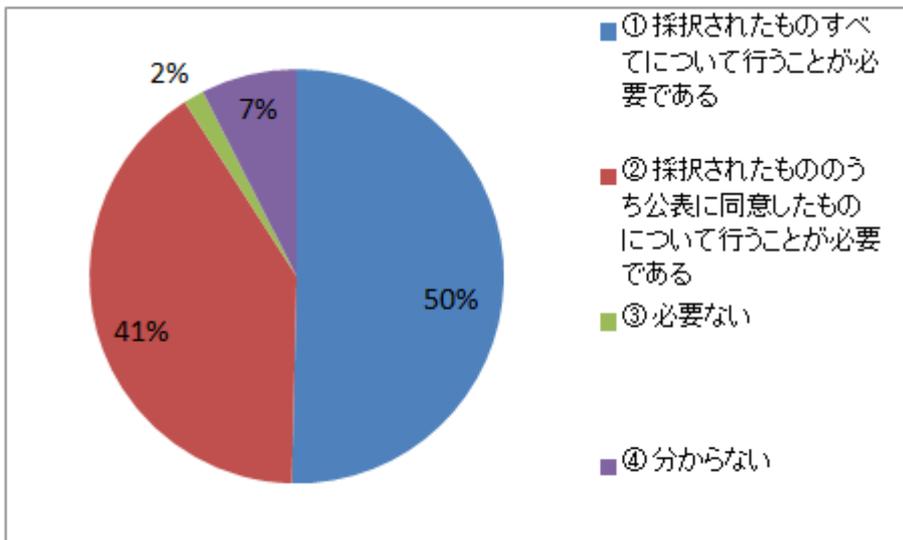
(15) 日本版アーツカウンシル導入のために、審査結果のうち不採択の理由を当該団体に対して文書により報告するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（回答はひとつ）

	実数	構成比
① すべての団体に対して行うことが必要である	432	40.8%
② 希望のある団体に対して行うことが必要である	558	52.7%
③ 必要ない	13	1.2%
④ 分からない	55	5.2%



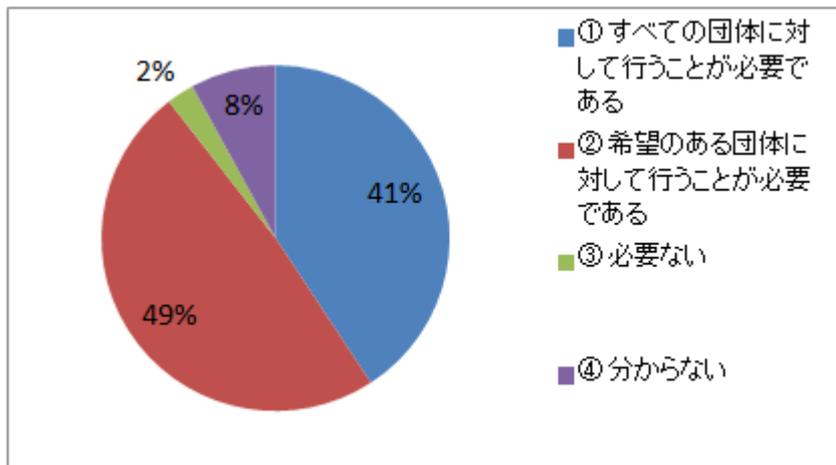
(16) 日本版アーツカウンシル導入のために、審査結果のうち採択理由を公表するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？(回答はひとつ)

	実数	構成比
① 採択されたものすべてについて行うことが必要である	534	50.4%
② 採択されたもののうち公表に同意したものについて行うことが必要である	430	40.6%
③ 必要ない	17	1.6%
④ 分からない	79	7.5%



(17) 日本版アーツカウンシル導入のために、助成対象活動に対する事後評価の結果を当該団体に対して文書により報告するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？(現在は、口頭で伝達しています。)(回答はひとつ)

	実数	構成比
① すべての団体に対して行うことが必要である	431	40.8%
② 希望のある団体に対して行うことが必要である	515	48.7%
③ 必要ない	27	2.6%
④ 分からない	84	7.9%



(18) 日本版アーツカウンシル導入のために、助成制度や芸術団体の活動に関する様々な情報の収集・提供をするような試行的取組について、今後必要であると思いますか？(回答はひとつ)

	実数	構成比
① 必要である	568	53.9%
② 必要はない	35	3.3%
③ 分からない	450	42.7%

